



Chartered on 7th July 1984

The Service Club of the YMCA

The Y's Men's Club of WAKAYAMA-KINOKAWA

和歌山紀の川クラブ 2021年 6月 No. 446

Club Office: Wakayama YMCA 1-12-13 Oota Wakayama
http://space.geocities.jp/kinokawacub/

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ会長 生駒義範：主題「見つめ直そう！今、わたしがあなたにできること、私たちがあなたにできることを」 // 国際会長 Jacob Kristensen (デンマーク)：主題「命の川を信じよう」 スローガン「価値観、リーダーシップ、エクステンション」 // アジア太平洋地域会長 David Lua (シンガポール)：主題「変化をもたらそう」 スローガン「奮い立たせよう」 // 西日本区理事 古田裕和：主題「Let's do it now!」 スローガン「2022年に向け誇りを持って All is well」 // 阪和部長 中井信一：主題「寄り添う。忘れない。」

会長：生駒 義範
会計：田中 正紀
書記：東 雅子

「2020年～2021年の1年間を振り返って」

会長 生駒義範

この1年間、紀の川クラブの皆様方には何かとご協力いただきありがとうございました。

昨年から今期にわたり、新型コロナウイルスに振り回された1年間でありました。2019年12月中国武漢市で発生した新型コロナウイルスには病気そのものにはまだ名前がついていませんでしたが、WHOはこの病気を「COVID-19」と正式名称したことは記憶に新しいことです。コロナ渦中では紀の川クラブの得意とするアクションプログラムも中止となり、自宅待機でもあった1年間でした。しかし、皆様とともに語らえる例会は中止とせずに行えたことは幸運でした。また、皆様が身近で行えることとして、健康維持や生活様式の変化に対応するためのハンドブック(運用編)や例会ジャーナルに「毎月の心がけ」を1年間12回掲げました。皆様、行えましたか？私は半分程度となりました。



今期1年間を振り返りますと、私自身の評価を点数で言えば65点(なんとか合格ライン)と言ったところでしょう。

会長標語で掲げました「見つめ直そう！今わたしがあなたにできること、私たちがあなたにできることを」としました。活動方針では個人会員の充実、会員増強、ネットワークの拡充、YMCAとの協議と計画をそれなりに掲げつつもりでありましたが、なかなかうまく進めたとは言えません。しかし、阪和部会やDBC3クラブ交流会ではたくさんの参加で賑わえたことはとてもよかったと思っています。なぜなら新しいY'sの生活様式リモートの普及により、各自がPC・携帯電話での操作により他の会員といつでも身近にお話ができることを身につけられたことだと思います。これを機会に次年度はもう一歩前に進んでいただければ幸いです。

最近ではウイルスが変化し異種株が蔓延しようとしています。よい意味で私たち紀の川クラブも進化していかなければなりません。来期、向井会長体制時にはワクチン接種も進み、楽しい例会が戻ってこられることでしょう。そして新たな芽生えで新しい改革に進んでいかれるようをお祈りします。

皆様、この一年間ありがとうございました。

聖句
何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。
コレハトへの言葉
坂本 智 撰



6月例会プログラム

評価 / 計画

日時：6月12日(土)
18:30~20:00
場所：YMCA 6F
司会：山口
受付：西岡・向井

プログラム
開会点鐘 生駒会長
ワイスソング 一同
ゲスト・ビジター紹介 生駒会長
会長報告 生駒会長
諸報告・アピール等 関係者

YMCA 報告 小川担当主事
次年度予算案 西岡次期会計
次年度プログラム案 山端次期プログラム
ハッピーアワー 小久保メネット会長
YMCAの歌 一同

閉会点鐘 生駒会長

5月	在席	出席	メネット	ゲスト	ビジター	マイクラブ	出席率	BF	ニコニコ献金
	17名	12名	4名	0名	0名	1名	81.3%		
							累計	27,850円	68,031円

応募会員1名を記す

5月 例会報告

日時：2021年5月8日(土) 18:00~18:20

場所：和歌山 YMCA 会館 6階ホール

出席：16名 メン12名：生駒、大谷、小川、加志、金城、坂本、田中、土肥、西岡、真弓、向井、山端
メネット4名：小久保、西岡、野崎、向井

※本日のDBC3クラブ・オンライン交流会開催に伴い、引き続き時間を短縮して5月例会を開催。

1. 会長報告等

- 1) 次年度への引継ぎを早急に進めていただきたい。
- 2) 本日開催したDBC交流会の評価、反省点を各自考えてください。次回のZoom会合に活かしたい。
- 3) コロナ禍で会員勧誘が容易でなく、国内の各クラブも全体的に会員減少傾向にある。当クラブでもEMC対策として意見を求めたい。
- 4) 京都での西日本区大会、コロナ禍の現状を考え、当クラブからの参加希望者はリモート参加で登録。

2. 次年度の年間プログラム(案)を提示<山端メン> 6月例会で承認が得られるよう進めていく予定。

3. YMCA 報告

- 1) 5月に予定の会員総会は、コロナ感染予防のため「書面総会」とする。

5月中旬に会計監査、理事会を行い、会員に資料を送付。5/17に評議委員会、5/25に常議委員会を開催予定。

- 2) カーニバルは中止
- 3) チャリティラン、チャリティクリスマスは実施する方向で考えている。

4. ニコニコ献金、BF 献金はなし

5. 例会充足率 100.0%

新年度評議会を、6月19日(土)13:00~16:30 大阪南 YMCA で開催予定。(Zoom参加者も含めハイブリッド形式)

6. 第24回西日本区大会(6/5~6)に、生駒、大谷、加志、土肥の4名がリモート参加で登録済。

7. 当クラブでZoomを年間契約(大谷)。西日本区からZoom会議資金(補助金)の交付が決定。不足分はクラブから補填する。

8. ワイズ将来構想特別委員会から、意見、提案の募集依頼がある。今日の社会構造の変化に伴い、ワイズメンズクラブも、これまでの価値観や構造をいかに変革するかが迫られている。13テーマから一つ選択して応募する。個人でもクラブからでも構わない。期限は6月末まで。

9. DBC3クラブ交流会を、当クラブがホストして5月8日に実施した。次年度は、名古屋クラブがホストクラブを引き受けてくださる。また、交流会そのものとは別に、可能なら、3クラブが共同した事業についても前向きに考えてみたいとの連絡をいただいた。交流会を楽しみにしている人が多い。継続していきたい。

DBC 交流会開催

大谷 茂

熱海グローリークラブ、名古屋クラブ、和歌山紀の川クラブ3クラブのDBC交流会が5月8日(土)16時~17時半迄開催されました。

2020年5月に3クラブの移動距離を考慮して鳥羽に決定し、参加者の確認をする段階でコロナ感染拡大のために延期せざるを得なくなりました。

土肥実行委員長、金城メン、田中メン、坂本メンが現地に事前調査に出向きホテルエクシブとの調整、観光ルートの視察など、ホストクラブとして楽しいDBC交流会にしようと燃えていました。

1年後に今回のWEBを使ったDBC交流会開催になるとは誰も予想だにできなかったと思います。

5月 言々皆報告

日時：2021年5月14日(金) 18:30~19:15

場所：和歌山 YMCA 1F 会議室

出席：メン10名 生駒、大谷、小川、金城、田中、土肥、永井、西岡、真弓、向井

1. 6月例会プログラム案について

コロナ感染予防のため食事はしない(弁当を用意、持ち帰る)。評価・引継ぎの月であるということもあり、リーダーには声をかけない。

2. 藤田さんが4月1日から当クラブの担当主事となっている。

3. 次年度の年間プログラム案を点検。今年は祝日に変動があるので考慮。また、来年の西日本区大会の日程を確認するなど、微調整が必要。

4. 次年度の予算は6月例会・言々皆で協議、7月例会で採決・配付する予定。

5. 次年度阪和部の会合等の日程(大谷次期部長体制)を確認。阪和部旧年度評議会、役員交代式、



コロナ禍での対応としてWEB交流会の取り組みを生駒会長、土肥実行委員長が中心に名古屋クラブ、熱海グローリークラブと何回か打合せを行いました。ZOOMに詳しく慣れている名古屋クラブにZOOM全体の運用をお世話していただくことになりました。熱海グローリークラブの方はZOOMに挑戦し、名古屋

屋クラブの渡辺メンにご教授頂き前向きに取り組まれて無事開催となりました。



熱海 YMCA、名古屋 YMCA、和歌山 YMCA に各々集合し又自宅からの参加者も含めて約 40 名が繋がりました。議事進行は渡辺メン、司会は平野メンが担当してくれました。3クラブの参加者紹介、YMCA からの連絡報告、3クラブそれぞれのお国自慢やクラブの歴史、また DBC の由来など楽しい時間となりました。車中から国際交流の中堀主任の挨拶がありました。



思ったよりうまく運営でき「離れていてもつながっている」ことを参加者全員が実感できたように思います。今後も3クラブ間で ZOOM を利用してもっと頻繁に交流できる可能性が見えてきました。お世話していただいた方々に感謝です。

コロナ禍が終息して来年はリアルで DBC を出来ることをねがっています。

MY FAVORITE お気に入り

向井 千恵子



私のお気に入り……

博多の中州にある河庄☆ 亡き父のなじみのお寿司屋さんです。

父の命日にはここを訪れて、お寿司を味わいながら父に思いを馳せるのが私の楽しみの一つになっています。今年の10月には行けるといいなあ～と願っています。私のお気に入り居心地の良い場所……河庄



リーダーからの発信

‘カロン’ こと
雲雀ほのか



皆さん、こんにちは！リーダー2年目のカロンリーダーこと雲雀（ひばり）ほのかです。近畿大学の2回生で今年より奈良から和歌山に引っ越してきました。大学の方では主に食品生産、製造加工、食品衛生など、食の安全と機能について学んでいます。この大学での

知識を生かし、私は将来食品開発者になりたいと思っています。

先日5月の幼児さんの野外活動に参加してきました。去年は1月からと途中参加でしたが、4月に担当を決め、年度初めから本格的にリーダーとして参加してきました。しかし、まだ先輩に教えていただくことが多く、自ら行動に移せてないことが多々ありました。その時に活動の難しさを改めて実感しました。それと同時に、この活動のこれまで分からなかった楽しさなども感じる事が出来ました。これから一つ一つの経験を積み重ね、頑張っていこうと思います！

また、元気に活動ができる為にも、このコロナの影響による状況が一日でも早く終息へ向かいますことと、皆様のご健康をお祈り申し上げます。



ZOOM と格闘！

大谷茂

コロナ禍でワイズ活動にはなくてはならないツールになったZOOMに悪戦苦闘の日々が続いています。

次期阪和部スタッフ、東書記、金城会計、坂本事務局長の4人でZOOMの使い方をYMCAのスタッフに教わりそれぞれ自宅からテストを実施。つながらない、顔が出ない等々悪戦苦闘！やっとの事で何とかつながり相手の顔が画面に、声が届いたときはそれなりに感激！

(年齢と共に感激する事も無くなってきたと思っ
ていましたが…)

やれば出来る！ やり方が見つかると、つながり、良
くなった!!

(どこかで聞いたフレーズ?)

次期阪和部長がらみで次期事業主任の懇談会、現阪
和部キャビネットとの会議・調整、西日本区の役員会
にZOOM参加等、結構使用頻度が増えてきました。
足腰のしっかりしない私にとっては横移動がなく
諸々の会議に参加出来るのは本当に有難いことです。

(将来、外出が出来なくなってもみんなとつながっ
ていられるかも)

産まれも、育ちも根っからのアナログ人間で、コロ
ナの感染防止対策とは真逆の生活が好き。濃厚接触、
外出、飲食等を好んで生きてきた身にとっては窮屈な
生活の日々が続いています。コロナが落ち着いても
ZOOM を活用したく思っています。これからはデジ
タルとアナログのバランス、多様性の中の融合が必要
になるのかもしれませんが。

6月YMCA行事予定

【介護福祉士科】

- ・特記無し

【日本語科】

- ・留学試験 20日
- ・到達度テスト 22日

【高等学院】

- ・特記無し

【ウェルネス】【ランゲージ】

- ・1か月 体験クラス会 21日から
- ・夏期特別プログラム 受付開始 21日～

【シードクラブ】

- ・特記なし

【全 体】

- ・同盟協議会 19日

メッセージ

今年度各部署に於いてスタッフ体制が少し変わり
4月5月とバタバタとしておりましたが、ようやく
落ち着きを見せ、日々のプログラムが順調に進んで
います。なかなか、新たな、飛躍的なプログラム展
開とはいきませんが、部門ごとの特色をしっかりと
出しながら安定的な継続に向け努めています。夏に

向けての作業がこれより始まります。一つでも多く
の新しいプログラムが展開できるよう頑張ります。

(小川 記)

6月ワイズカレンダー

5日～6日(土日)	西日本区大会
11日(金)	言々皆
12日(土)	例会
17日(木)	和歌山クラブ例会
19日(土)	新旧阪和部評議会・主査会 (リモート会議形式)
7月3日(土)	紀の川クラブ Kick-off 例会



何に対しても気乗りしないと感
じる人が多いと思うこの状況ではあり
ますが、それなりのペースができて
きているようです。人間とは慣れの
動物だといわれますが、あまり慣れ
たくはないこのコロナ禍です。

☆次期阪和部メネット主査の西岡さ
さんが10月に開かれる予定の阪和部
会について大体のことを決めるため
にLINE会議を開きました。参加で
きる役員で色々話し合い、骨子を決
めることができました。しかし、あ
くまでコロナの状況に影響されるの
で最終の決定等はもっと近づいてか
ら状況を見て再度話し合い、判断す
ることになりました。(大谷 記)

編集後記

記憶をたどる
とこのコロナ禍
が身近なもの
として始まって



から、一年と数か月。振り返ってみるとあまりにも短
く感じ、思い出に残るようなこともない。かといって
悲惨な日々でもない不思議な時の流れ。一杯本は読め
るし、私の住む田舎では一杯散歩もできる。でもやっ
ぱり、こんなのに乗っていつでも異国に行ける!! 状態
が一番。ワクチンの普及で早くいつもの日常が戻りま
すように。(大谷メネット記)